

平成25年第4回定例会

# こんにちは No.42 魚沼市議会 です



スキージーズン  
スタート!!



薬師スキー場安全祈願祭



須原スキー場

定例会・市長行政報告 …………… 2ページ  
補正予算・議案賛否の状況 …………… 3ページ  
第3回臨時会・行政視察 …………… 4～5ページ  
一般質問 …………… 6～13ページ  
常任・特別委員会報告 …………… 14～17ページ  
**特集** 合併後の一般会計決算の推移  
職員数・人件費の推移 …… 18～19ページ  
議会報告会 …………… 19ページ  
市民の声・お知らせ・あとがき …………… 20ページ

〈発行責任者 議長 浅井 守 雄〉

広報編集特別委員長 高野 甲子雄

副委員長 佐藤 敏 雄

委員 大平 恭 児

富永 三千敏

岩井 富士夫

志田 貢



## 新年あいさつ 議長 浅井守雄

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様が、希望に満ちた輝かしい平成26年の新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから市議会にお寄せいただきますご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

今年は、合併10周年という記念すべき年になります。振り返りますと、震災からの復旧・復興をはじめ、様々なできごとがありました。最近では新消防庁舎の完成、新しい市立小出病院の建設など、市としての新しいシンボルも誕生しつつあります。経済的にまだまだ厳しい時代の中ではありますが、この節目の年を機にさらなるふるさと魚沼の発展を市民協働のもと培っていきましょう。

今「和食」の無形文化遺産登録や「食育」など食が注目されています。魚沼の「すっごくウマイ」食材の発信と、そこに住む市民が健やかに笑顔で暮らせる豊かなまちであるために、議会もより一層努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 議員の年賀状は禁止されています

市議会議員は、答礼のための自筆によるものを除き、選挙区内の人に対して年賀状を出すことが公職選挙法で禁止されています。ご理解をお願いいたします。

## 第4回定例会報告

平成25年第4回定例会は12月6日から12月20日までの15日間の会期で開催されました。

議案では、平成25年度一般会計補正予算（第8号）及び工業団地造成特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正予算を審議し、県内初となる職員等の職務行為等審議会条例の制定を可決する他、13件の条例の改正や制定が審議されました。新市建設計画の変更や指定管理者の指定6件、市道路線認定などその他7件についても審議可決しました。

スキー場索道協会より出された免税軽油制度の継続を求める請願が採択され、また、只見線早期全線復旧を求める意見書提出も決定しました。

12月9、10日の一般質問では16人の議員が登壇しました。

また、開かれた議会、信頼される議会への取り組みのひとつとして、今定例会より議会の様子が録画され12月20日よりインターネット配信されていますのでご覧ください。

※議案賛否の結果は3ページをご参照ください。

## 主な市長行政報告

### 12月6日報告分

#### ●訴訟事件について

下水道受益者負担金を支払わせしたのは違法として、損害賠償請求がなされた。

#### ●平成26年度予算編成方針について

総合計画の後期計画を基本として予算編成方針を策定し、これに基づきヒアリングを行っている。

#### ●地すべり災害の復旧状況について

大原スキー場については、今年度のスキー場営業には支障ない状況まで復旧した。また、西名地区については、ワイヤーセンサー、パトランプ等を撤去した。いずれも工事完了は来年度になる。

#### ●末沢川土砂崩落について

11月29日、大白川地区の末沢川左岸より土砂崩落が発生した。県が状況を監視しており、今後復旧等について対応していきたい。

#### ●県道堀之内小出線（通称小出インター線）について

県では7月末の梅雨前線豪雨災害による復旧工事を優先したところ、この路線の工事が予定よりも遅れ、開通が来年度にずれ込む見込みとなった。

### 12月20日報告分

#### ●訴訟事件の判決について

新潟県中越地震復興基金「水源確保支援事業」に関して支出された公金の返還、その調査作業のために支出された公金の返還、補助金の返還を魚沼市に求めていた事件について、12月3日「上告を棄却し、上告審として受理しない」との最高裁判決言い渡しがあった。

#### ●住民監査請求結果について

魚沼市斎場建設用地取得の価格決定及び不動産鑑定料の支払いに係る住民監査請求は、12月16日「いずれも請求に理由がない」との監査結果通知を受けた。

#### ●JR只見線について

復旧に向けて「福島県JR只見線復興推進会議」が設立された。また、JR東日本から示されている復旧経費の一部を負担するため、福島県は「福島県只見線復旧復興基金」を創設した。推進会議の構成員である魚沼市にも基金への協力依頼があり、今後協議していく。

#### ●個人情報文書の紛失について

12月5日に、福祉課介護福祉室が個人情報を含む介護保険関係書類6名分を紛失したことが判明した。当該者には謝罪と説明を行っており、原因を調査中である。

# 第4回定例会補正予算

会 計 名	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容	
一般会計(第8号)	274億5,730万円	1億8,080万円	276億3,810万円	・職員人事異動、議員報酬減額改定による人件費補正、電気料金改定による光熱水費増額、湯之谷中学校耐震補強工事費など	
工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)	17億7,600万円	—	17億7,600万円	・借入金利子を120万円減額し、同額を函面作成委託料等に計上	
水道事業会計(第1号)	簡易水道事業 収益的支出	4億2,100万円	△ 640万円	4億1,460万円	・人事異動による人件費
	簡易水道事業 資本的支出	7億2,000万円	370万円	7億2,370万円	
下水道事業会計(第1号)	収益的支出	18億9,400万円	20万円	18億9,420万円	・損害賠償請求訴訟経費

# 第4回定例会議案等

◎=全会一致、○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任、×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付 議 事 件	議決結果
予 算	議案第101号 平成25年度魚沼市一般会計補正予算(第8号)	◎
	議案第102号 平成25年度魚沼市工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)	◎
	議案第103号 平成25年度魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	◎
	議案第104号 平成25年度魚沼市下水道事業会計補正予算(第1号)	◎
条 例	議案第105号 公益的法人等への魚沼市職員の派遣等に関する条例の一部改正について	◎
	議案第106号 魚沼市消防本部及び消防署設置条例の一部改正について	◎
	議案第107号 魚沼市火災予防条例の一部改正について	◎
	議案第108号 魚沼市職員等の職務行為等審議会条例の制定について	○
	議案第109号 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	◎
	議案第110号 魚沼市野山の幸資料館等条例の一部改正について	◎
	議案第112号 魚沼市予防接種健康被害調査委員会設置条例の制定について	◎
	議案第113号 魚沼市道路占用料徴収条例の一部改正について	◎
	議案第114号 魚沼市河川占用料徴収条例の一部改正について	◎
	議案第115号 魚沼市下水道条例の一部改正について	◎
	議案第116号 魚沼市ガス供給条例の一部改正について	◎
そ 他	議案第117号 魚沼市水道条例の一部改正について	◎
	議案第118号 魚沼市温泉施設等条例及び魚沼市観光施設等条例の一部改正について	◎
	議案第119号 魚沼市農業担い手育成基金条例の制定について	◎
	議案第121号 小千谷市魚沼市予防接種健康被害調査委員会の共同設置の廃止について	◎
	議案第120号 魚沼市新市建設計画の変更について	◎
	議案第121号 指定管理者の指定について(魚沼市養護老人ホーム南山荘)	◎
	議案第122号 指定管理者の指定について(魚沼市デイサービスセンターひまわり、魚沼市ヘルパーステーションコスモス及び魚沼市うおぬまケアセンター)	◎
	議案第123号 指定管理者の指定について(魚沼市障害者支援施設ひろかみ工芸)	◎
	議案第124号 指定管理者の指定について(魚沼市入広瀬生きがいセンター)	◎
	議案第125号 指定管理者の指定について(魚沼市雪むろと農産物加工工場)	◎
	議案第126号 指定管理者の指定について(魚沼市入広瀬山菜会館)	◎
人 事	議案第127号 魚沼市道路線の認定について	◎
	議案第128号 魚沼市道路線の変更について	◎
	議案第129号 人権擁護委員候補者の推薦について(和田 松木讓氏)	◎
	同意第6号 固定資産評価審査委員会委員の選任について(並柳 関矢孝吉氏)	◎
	同意第7号 固定資産評価審査委員会委員の選任について(下島 江口順治氏)	◎
請 願	同意第8号 固定資産評価審査委員会委員の選任について(宇津野 星完一氏)	◎
	同意第9号 教育委員会委員の任命について(和長島 角屋禮士氏)	◎
	請願第8号 「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願	◎
発 議	請願第10号 免税軽油制度の継続を求める請願書	◎
	発議第23号 J R只見線の早期全線復旧を求める意見書の提出について	◎
	発議第24号 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書の提出について	×
	発議第25号 容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出について	◎
	発議第26号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	◎

# 議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載 ○=賛成 ●=反対・態度保留・棄権等 -=欠席、除斥(※議長は議案議決に加わりません。)

議案番号等	議決結果	合 計		新魚沼クラブ							政策クラブかけはし				日本共産党					会派所属なし				
		賛成	反対	星野武男	志田貢	佐藤敏雄	遠藤徳一	下村浩延	本田篤	森山英敏	関矢孝夫	渡辺一美	佐藤肇	高野甲子雄	星吉寛	大屋角政	大平恭児	富永三千敏	岩井富士夫	岡部計夫	大平栄治	森島守人	浅井守雄	
議案第108号	原案可決	15	4	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	※	
発議第24号	否決	4	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	○	●	●	●	●	※	



## 第3回臨時会報告

平成25年10月31日に第3回臨時会が開催されました。

平成25年度一般会計補正予算（第7号）では、学童のスキーリフト券補助に関する補正が全会一致で可決しました。

11月1日からの市内5スキー場の民営化に伴い、市有財産である5スキー場を各運営団体に貸与することが可決されました。そのために魚沼市スキー場条例廃止を可決し普通財産化しました。

## 第3回臨時会補正予算

会計名	補正前の額	補正額	計	主な内容
一般会計(第7号)	274億5,380万円	350万円	274億5,730万円	・小中学生へのスキー場シーズン券助成費

## 第3回臨時会議案等

○=全会一致、○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任、×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付議事件	議決結果
予算 議案第94号	平成25年度魚沼市一般会計補正予算（第7号）	◎
条例 議案第95号	魚沼市スキー場条例の廃止について	○
その他	議案第96号 市有財産の貸付けについて（小出スキー場）	◎
	議案第97号 市有財産の貸付けについて（薬師スキー場）	◎
	議案第98号 市有財産の貸付けについて（大湯温泉スキー場）	◎
	議案第99号 市有財産の貸付けについて（須原スキー場）	◎
	議案第100号 市有財産の貸付けについて（大原スキー場）	◎

## 議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載 ○=賛成 ●=反対・態度保留・棄権等 ー=欠席、除斥（※議長は議案議決に加わりません。）

議案番号等	議決結果	合計		新魚沼クラブ							政策クラブかけはし			日本共産党		会派所属なし								
		賛成	反対	星野武男	志田貢	佐藤敏雄	遠藤徳一	下村浩延	本田篤	森山英敏	関矢孝夫	渡辺一美	佐藤肇	高野甲子雄	星吉寛	大屋角政	大平恭児	富永三千敏	岩井富士夫	岡部計夫	大平栄治	森島守人	浅井守雄	
議案第95号	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	※

# 行政視察報告

10月21日、22日に全議員で  
先進地視察を行いました。

### 視察先

山梨県南アルプス市

### 目的

合併後の行財政改革に  
率化、職員定員管理、給  
与制度の適正化、市民参  
画」を策定して行財政改  
革に取り組んでいる。

### 視察内容

平成15年に6町村が合  
併して誕生した南アルプ  
ス市（人口7万3千人）  
は想定より早く少子高齢  
化が進み、医療・福祉な  
どの社会福祉費が増加す  
る一方で、市税の減収傾  
向に加え、合併特例措置  
の終了による地方交付税  
の減額など魚沼市と同様  
の課題に直面している。

このような財政課題を  
解決しながら、「未来あ  
る持続可能な安定的財政  
運営」を目指すため、若  
手職員が中心となり「行

政改革大綱及び実施計  
画」を策定して行財政改  
革に取り組んでいる。

具体的には、事務の効  
率化、職員定員管理、給  
与制度の適正化、市民参  
画の推進、公共施設の見  
直し、新庁舎の検討など  
について、分析、検証を  
加えながら取り組んでいる。

想定される財政状況の  
中で市民サービスをどの  
ように向上させるか、ど  
の自治体にも共通する課  
題である。

魚沼市も、普通交付税  
が平成27年度から段階的  
に引き下げられ、合併特  
例措置が終了する平成32  
年度には、現時点と比較  
して約34億円が減収にな  
る見込みだが、合併時の

手職員が中心となり「行

政改革大綱及び実施計

画」を策定して行財政改

革に取り組んでいる。

具体的には、事務の効

率化、職員定員管理、給

与制度の適正化、市民参

画の推進、公共施設の見

直し、新庁舎の検討など

について、分析、検証を

加えながら取り組んでいる。

想定を超える少子高齢化の進行や、雇用情勢の長期低迷など、取り組まなければならぬ行政課題は山積している。

新市建設計画の5年間延長も見据えた中で、持続可能な安定的財政運営を構築していくには、市民と協働しながら改革を進めることが必須であると実感した。

(総務委員会)



南アルプス市

### 視察先

長野県須坂市

### 目的

医療福祉ネットワーク推進事業について

### 視察内容

長野県の須坂市を中心とした須高地域（須坂市、小布施町、高山村）では、将来に向けて住民の安心・安全をつなげる地域に発展するために、3市

町村が広域で共通課題解決に取り組むことを目的とし、須高地域医療福祉推進協議会を設置した。

協議会は地元医師会、病院、介護保険サービス事業者、訪問介護ステーション、社会福祉協議会、消防本部、行政で構成され、医療体制の整備、医師・看護師不足に対する取り組み、在宅医療の包括的取り組み等を事業内容としている。

平成24年度事業では、医師会・3病院（県立病

院と2カ所の民間病院）・訪問介護ステーション・行政で24時間のサポート体制を構築した。このシステムを使って情報を共有し、平時は主治医が治療にあたるが、緊急時は

在宅療養支援病院と訪問介護ステーションが主治医とチームになって対応し、24時間体制で支えている。



須坂市

当市でも同様の取り組みは進められているが、高齢化の進行に伴い在宅での医療・介護が重要視されている。したがって

今後は関係機関の一層の連携が求められ、早期のネットワーク構築の必要性を感じた。

(福祉文教委員会)

### 視察先

長野県塩尻市

信州F・POWERプロ

### 目的

林業再生・木材加工施設・木質バイオマス発電

について

### 視察内容

塩尻市では、豊富な森林資源を生かして、有効活用が課題となっていた中、長野県、塩尻市、民間事業者、大学の産官学連携で当事業がスタートした。

この事業は主に3つあり、まず、林業再生の取り組みとして、一定面積の「林業経営団地」を設定し、原木の安定供給体

制をつくり、年間20万5千㎡の木材を確保する。また、木材加工施設を建設し、県産材製品として年間約2万5千㎡を供給する。さらに、新設の木

質バイオマス発電施設を建設し、年間約18万㎡もの製材端材や未利用の間伐材などを燃料として、1万6千世帯分（1万kw

）の発電を行い、その固定買取制度を活用し売電する。これらが成立することで循環型社会の形成を目指している。

視察の感想として、林業再生・木材加工施設・木質バイオマス発電とも産官学の連携がスムーズにできているといえる。その反面、塩尻市の関わりは小さくも感じた。

この事業は売電収入と雇用創出、林業再生の一石三鳥につながると期待している。しかし、燃料

の安定調達がかぎであり、見込みの違いで損益バランスは崩れかねない。やはり綿密なコスト管理が欠かせない事業といえる。

魚沼市では、市が主体となり、事業に取り組むか否かの可能性も含めて検討している段階である。塩尻市の事業が、そのまま魚沼市版には当てはまらない。しかし、独自の方法を模索するため

の視察であったといえる。

(産業建設委員会)



塩尻市

一般質問 (通告順)

予算編成の基本方針を問う



本田 篤 議員

答

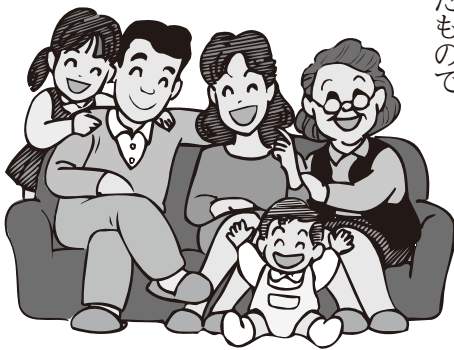
「ずっと住み続けたい  
まちづくり」を目指す

問 次の世代に安心して引き継ぐことは、我々大人の責任である。平成26年は合併後10年を迎え、当市にとって大きな節目となる。その節目にあたる平成26年度予算の編成は大きな重要性を持っていると考えている。

答

新年度予算編成方針をワンフレーズで表現すると、「ずっと住み続けたいまちづくり」である。略としては、「魚沼市版財政計画を平成32年度まで延長して策定し、これをもとに予算編成を行っている。この計画は平成32年度以降も安定した財政運営を行うための計画であり、まさに行政の持続性を意識したものである。」

平成26年度予算編成の基本方針及び主要政策はどのようなものか。  
また、合併特例措置期間の縮小及び終了を意識し、サステイナビリティ(持続可能性)・総合計画・行財政改革・成長戦略を意識して取り組むべきと考えるがどうか。



魚沼市の防災対策の現状と課題を問う



佐藤 肇 議員

答

条例ではなく、地域の实情に見合った施策に取り組む

問 魚沼市では、防災能力の強化を図るため、危機管理監の設置、対策本部機能の強化、消防庁舎の改築と資機材の更新、市民防災士の養成、情報伝達手段としてコミュニティFM局の開設調査などを進めているが、現状の分析と今後の防災対策について問う。

答

1 特別警報など  
2 河川改修、土石流対策など、市が国、県に求めているハード対策は何か。先の見通しはどうか。  
3 自主防災組織には、災害時要援護者支援に協力を求めたい。また、防災士についても、自主防災組織からの推薦者を養成してきたが、今年度で一旦終了する。地域防災リーダーとして、災害時だけでなく市民への防災知識や意識啓発、訓練などで中心的に活動していただきたい。

1 気象庁が新設した「特別警報」を警戒や減災行動につなげていくか。  
2 防災行政無線の弱点が明確となった。市民に危険を知らせる手段として、サイレンを水門や危険箇所を設置してはどうか。  
3 市民レベルの防災対策の課題と自主防災組織に求めるものは何か。

1 特別警報などは非常に重要な情報と捉え、本市及び上流域の降雨量、河川水位とあわせて多くの情報を収集し、避難情報発令の判断をしている。  
2 降雨時のサイレンは聞こえにくいこともあるが、現在は水門操作員の出勤と同時に職員を派遣し、水位、水門操作の状況を本部に伝えている。今後各区分長に速やかに情報伝達を行い対応する。水門操作場についてはサイレン設置も今後検討する。期整備の要望を行っていく。



# 2020年東京オリンピックピックへの参画を



遠藤 徳一 議員

### 関係者と可能性を 探っていきたい

**問** 燕市は、来たる東京オリンピックのメダル製作の受注に向け活動をしている。当市もオリンピック村等への食材の提供に向け、活動してはどうか。

**答** 情報を提供し、自ら決断できる体制が必要と思うがどうか。

**答** 学校は学びの場であるとともに「地域の学校」という観点から、井口小学校の建設にあたっては地域の皆さんにも新しい学校づくりの協議に加わっていただいているほかの公共施設についても、情報を提供し、丁寧な協議を進めていきたい。

**問** 本市の特産物をPRする絶好の機会である。市内の食品メーカーや生産者、関係団体と可能性を探りたい。

**答** 状況がそれぞれ違うため、その地域にあわせた活性化の取り組みが必要である。コミュニティ協議会への支援策などを有効に活用していただきたい。

**問** 地域要望の取り扱いについて

**答** 状況がそれぞれ違うため、その地域にあわせた活性化の取り組みが必要である。コミュニティ協議会への支援策などを有効に活用していただきたい。

**問** 人口減少から祭やイベントができない地域がある。祭は地域一体感の醸成の場であり、世代間を超えて積み上げてきた地域経済資源でもある。地域活性化の政策として支援すべきと考えるがどうか。

**答** 現地確認のうえで、必要性や緊急度を把握し、事業の優先度に反映させたい。限られた予算において、地域でできるものは地域で完結する仕組みづくりを進めたい。

# 減反廃止に向けた取り組み姿勢を問う



佐藤 敏雄 議員

### 地元産コシヒカリの 消費拡大を推進する

**問** 1 政府は、5年後に減反を廃止し補助金を減額すると発表した。本年産は、米の消費が減り、豊作もあって米価が大幅に下落している。更に減反を廃止すれば、価格の暴落で、農業の維持ができなくなる。魚沼市で「地元産米の活用」を定し、地元産米の活用で6次産業化を図ってはどうか。

**答** 1 政府は、5年後に減反を廃止し補助金を減額すると発表した。本年産は、米の消費が減り、豊作もあって米価が大幅に下落している。更に減反を廃止すれば、価格の暴落で、農業の維持ができなくなる。魚沼市で「地元産米の活用」を定し、地元産米の活用で6次産業化を図ってはどうか。

**問** 2 コスト削減に向けて「人・農地プラン」の徹底が急務である。全集落で取り組むよう対策を図るべきと考えるがどうか。

**答** 1 魚沼市は来年市政10周年であり、各種記念日も重なっている。記念イベントとして、魚沼市を挙げて年間を通じた観光推進に取り組み、流動人口の増加で市の活性化と雇用の拡大を図ってはどうか。

**問** 2 東京オリンピックを観光誘致につなげてはどうか。

**答** 1 関係者による企画会議を立ち上げており、観光人口の増加に向けて、観光人口の増加に向けて

**問** ふるさと納税制度が、テレビ等で放映され、全国的な話題を呼んでいる。寄附額に応じて、お礼の品の種類を増やしたり、手続の簡素化をしてはどうか。

**答** 当市も寄附件数が大幅に伸びている。平成26年4月から、お礼の品の追加に市内の商工会が作成した魚沼産直ギフトカタログ「魚沼まるごと市場」などを検討している。手続については、市のホームページのトップページから入れるように改良する。

**問** 十日町市立十日町小学校は、PTAが学校建設のために自ら立ち上がり、自治会、後援会、市議会と協働しながら市を動かし、夢の学校づくりが実現した。本来の市民参画の姿だ。当市も学校統合や施設再編があるが、早い段階から市民に

**問** 1 全小中学校の給食での米飯に、地元産コシヒカリを使用している。また、魚沼ブランド推奨制度でも5種類の地

**答** 1 関係者による企画会議を立ち上げており、観光人口の増加に向けて

**答** 1 関係者による企画会議を立ち上げており、観光人口の増加に向けて

**答** 1 関係者による企画会議を立ち上げており、観光人口の増加に向けて

**答** 1 関係者による企画会議を立ち上げており、観光人口の増加に向けて

## 一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

持続可能な自治体を目指し合併後の検証を



岡部 計夫 議員

現在実施している事業の見直しを行っている

合併10周年を迎えるが、検証すると急激な人口減少や加速度的な少子高齢化、徐々に地域間格差が出て社会問題化してきた。これらをどうとらえているのか。

公共施設白書の作成を

公共施設の改修費が増加しているが、今後

改築、解体、新築の議論の資料として公共施設白書を作成してはどうか。

域おこし協力隊制度は、地域活性化策として首都圏に住む人を地方に派遣し、地域おこしのお手伝いをする総務省の事業であり、予算も国が執行する。当市もこの制度を活用してはどうか。

合併前に比べ、人口減少や少子高齢化は、地域によっては予想を上回る速さで進行している。

市の公共施設の数や築年数などの資料は既に作成している。集中改

革プランにおいて個別計画を策定し、再編を進めている。

平成26年度からの導入を検討している。

例えば、近所での買い物ができなくなる地域も出ており、克服しなければならぬ課題だと認識している。

地域おこし協力隊制度の導入を

現在、地域の諸問題の解決に向けて集落支援員が活動している。

地



集落支援員の活動の様子

新斎場建設用地取得費について問う



大平 栄治 議員

既に議会の理解と賛同を得たものである

新斎場の用地取得に当たり、担当課長は平成23年度に取得した薬師

運動広場の価格を主に引用したと説明した。しかし、薬師運動広場は湯之谷の道路脇で、旧月岡養豚団地は全くの原野状況であり、畑等の比較も広

原案可決と決定いただいた。その後の本会議においても、賛否はあつたもの

この用地取得については、9月から10月に開かれた第3回定例会において提案した。福祉文

教委員会に付託され、ここでは不動産鑑定評価書を説明資料として提出し、

格段の差となる。コシヒカリの一等米とイリゴ(ぐず米)を比べたようなものだ。これについて市長の考えを問う。

また、同じく担当課長は入広瀬火葬場の単価についても説明したが、既に火葬場ができていた後の用地増加単価であり、これも対象にならないと



新斎場建設予定地



# 医療公社一元化でスタッフ確保は大丈夫か



大屋 角政 議員

**答** 一元化により効率的で柔軟性ある人員配置を目指す

**問** 現在の公立病院や診療所の医師・看護師などの医療スタッフの不足などにより、市の直営医療機関の存続が危ぶまれる段階にきているという現状認識に立ち、この解決策として、魚沼市医療公社の新小出病院と経営を一元化する方針だが、医療スタッフを確保できる確信があるのか。また、医師や看護師の処遇についてはどのような方針か。

現在の公立病院や診療所の医師・看護師などの医療スタッフの不足などにより、市の直営医療機関の存続が危ぶまれる段階にきているという現状認識に立ち、この解決策として、魚沼市医療公社の新小出病院と経営を一元化する方針だが、医療スタッフを確保できる確信があるのか。また、医師や看護師の処遇についてはどのような方針か。

住宅リフォーム助成の通年化を

**問** この助成制度は非常に好評であるため、通年化してはどうか。また、事業所などにも適用する考えはないか。

この助成制度は非常に好評であるため、通年化してはどうか。また、事業所などにも適用する考えはないか。

**答** 多くの市民から活用いただいているが、ほかの支援事業もあることから、現状では通年化を考えていない。また、あくまでも個人住宅の質的向上、改善を目的として

政府の交渉状況を注視している。あまりにも性急な議論に懸念もあるが、農家所得の安定化のため引き続き取り組んでいく。

経営一元化だけでなくスタッフ確保が約束されるものではないが、医療公社に人員を集中させることで効率的で柔軟性のある人員配置を目指していく。待遇については、就職説明会などで説明し

業所等のリフォームは対象外と考える。

# 第2次魚沼市総合計画策定を問う



関矢 孝夫 議員

**答** 市民と行政が協働した計画づくりに努める

**問** 1 地方自治法の改正により、地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想（いわゆる総合計画）の策定義務が廃止されたが、魚沼市は第2次総合計画を策定するか。

2 基本構想、基本計画、実施計画のいずれまで議会の議決を求めるか。

3 第2次総合計画策定にあたり、計画原案の作成段階から多くの市民の意思を反映させる仕組みが大切と考える。市長はどのようなプロセスで策定するのか。

1 地方自治法の改正により、地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想（いわゆる総合計画）の策定義務が廃止されたが、魚沼市は第2次総合計画を策定するか。

2 基本構想、基本計画、実施計画のいずれまで議会の議決を求めるか。

3 第2次総合計画策定にあたり、計画原案の作成段階から多くの市民の意思を反映させる仕組みが大切と考える。市長はどのようなプロセスで策定するのか。

**問** 「みんなで結ぶ、いのちの環」によって、魚沼らしい豊かさへ、魚沼らしいライフスタイルに転換し、自然と共生した魚沼ならではの豊かな文化を未来の子どもたちにつなげていくことを目指すという基本理念を掲げて策定された「魚沼市

バイオマスタウン構想」だが、これからの魚沼市にとって一番大切なことと思う。この理念に沿ったまちづくりを進めていくには、循環型社会の確立が最重要と考えるが、生ごみ処理の具体的な施策及び年次計画を問う。

家庭用の電動生ごみ処理機の購入補助制度を、更新時やコンポスト容器も補助対象にするなど見直しを行いたい。事業所の食品加工残渣は、有機センターでの受入量を徐々に増やしている。家庭用生ごみの受け入れは、今後ごみ処理の広域化とあわせて検討したい。

1 第1次総合計画の終了を見据え、次の構想づくりに向けて検討

## 一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

ボランティアポイント制度の導入を



渡辺 一美 議員

【答】 今後の検討材料と捉えている

【問】 1 超高齢化社会の社会保障を支えるためには「病院完結型」から地域全体で治し支える「地域完結型」へ転換するための地域包括ケアシステム構築を急ぐ必要がある。若い年齢層だけではなく、高齢者も負担能力に応じて負担し支え合う仕組みづくりが不可欠である。

【問】 1 超高齢化社会の社会保障を支えるためには「病院完結型」から地域全体で治し支える「地域完結型」へ転換するための地域包括ケアシステム構築を急ぐ必要がある。若い年齢層だけではなく、高齢者も負担能力に応じて負担し支え合う仕組みづくりが不可欠である。

【答】 1 既に地域ケア会議において医療・福祉・介護の多職種による連携を検討している。今後、地域包括ケアシステム構築を目指し取り組んでいく。ボランティアポイント

支援は、未来への投資、日本社会の未来につながる社会保障制度改革の基盤である。以前も市長に婚活支援を提案した。再度提案するがどうか。

【問】 地元食材が豊富な市町村、農林水産業が盛んな市町村を選ぶ地域ブランド調査2013で、魚沼市が全国2位になった。あらゆる市内産業をPRするオール魚沼情報発信事業を展開し、人と物の交流拡大による魚沼市活性化を目指すことが可能である。

【答】 関係団体等と連携しながら、平成26年度のPRについて検討を深めたい。現在はホームページ等で魚沼産農作物・加工品のPRや新米コシヒカリが食べられる飲食店を紹介するほか、市内商工会で作成したギフトカタログ「魚沼まるごと市場」の販売を開始した。

【問】 自然災害の頻発、社会経済の疲弊により地域産業が弱り、中でも観光産業が厳しい状況になっている。一般住宅対象の支援事業と別に、観光業を対象にトイレ改修などを支援する事業を新たに創出できないか。

【答】 事業所等へのリフトーム支援は、趣旨に添わないため対象外と考えている。



【問】 2 少子化対策・子育て

【答】 1 既に地域ケア

【問】 2 少子化対策・子育て

【問】 2 少子化対策・子育て

【問】 2 少子化対策・子育て

【問】 2 少子化対策・子育て

【問】 2 少子化対策・子育て

# 今後の財政計画と施設整備はどうなる



森山 英敏 議員

**答** 財政運営に支障が出ないよう検討していく

**問** 1 平成18年に財政健全化計画が、平成22年には5年間の財政計画が策定された。平成27年から合併特例措置が終了し、その後の5年間で約33億円の交付税の減額が始まる。市民生活と行政サービスに大きな影響が懸念される。激変緩和のために財政調整基金などを活用した財政計画をつくるべきではないか。

**答** 1 職員数の削減をはじめ、事業全体の見直し、通常ソフト事業に対する一般財源の縮減などの対策をとっている。適正な事業費規模への移行が完了するまで続けていく。激減緩和については、指摘の部分を含めて予算編成において検討していく。

**答** 2 大型建設事業については、極力、合併特例債や過疎債など優良債の活用を検討している。現在、新市建設計画期間の延長申請を予定しており、あわせて「公共施設等整備基金」などを活用して、財政運営に支障が出ないようしていきたい。

2 新消防庁舎は完成し、新小出病院は着工している。新斎場と井口小学校は用地取得に動き出した。さらに新庁舎を建設する場合、地方債の大幅な増加が予定される。今後の財政運営に問題はないか。

2 大型建設事業については、極力、合併特例債や過疎債など優良債の活用を検討している。現在、新市建設計画期間の延長申請を予定しており、あわせて「公共施設等整備基金」などを活用して、財政運営に支障が出ないようしていきたい。



建設が進む新小出病院



新消防庁舎

# 医師、看護師等の確保は大丈夫か



高野甲子雄 議員

**答** 市と公社一体となり確保に努める

**問** 魚沼市は豪雪地という自然特性や地域の広さなどのリスクを考えたとき、医師、看護師等の確保に国、自治体が責任を持たないと運営は難しいのではないかと心配している。給与条件も、業

**答** 1 財団法人のメ

3 現職員の協力は不可欠であり、中心的な立場での参画を想定している。現在、話し合いを進めている。

1 財団法人の運営で人材確保が容易になるのか。財団法人運営のメリットは何か。

2 豪雪、地域の広さからして財団法人の経営で行き届いた医療を受けることができるのか。心配はないか。

**問** 高齢化が進む当市では医療・介護・保健・福祉の多職種連携機能化が喫緊の課題と考える。早急に立ち上げるべきと考えるがどうか。

3 堀之内病院を指定管理者の運営にして、現職の看護師等スタッフを確保できるのか。

2 市民の安心安全の砦として、持続可能な医療提供体制の確保に向け、不安を払拭できるよう、

**答** 地域包括ケアシステムの構築を検討しているところである。



一般質問 (通告順)

私が考える経済活性化策を問う



星 吉寛 議員

答

課題ごとに経済効果を  
含め検討したい

問 1 観光客や農畜  
産品等の供給拡大など3  
億6千万円以上の経済効  
果が期待されるため、「小  
出インターチェンジ」の  
名称を知名度の高い「魚  
沼インターチェンジ」に  
変更するよう働きかけて  
はどうか。

答 1 合併時に事前  
協議した経緯がある。費  
用負担や変更による経済  
効果などを含めて、今後  
の検討としたい。

2 民間活力を推進する  
必要がある。現在ある施  
設の有効活用を前提に検  
討したい。

3 温泉地の活性化は本  
市における観光産業、地  
域経済にとって重要な取  
り組みである。しかし、  
基本は観光産業に従事す  
る方々のまちづくりに対  
する情熱や覚悟が十分醸  
成していることが基本と  
考える。

3 観光客が魅力を感じ  
る温泉街（スズラン通り  
等）の整備に向け、行政  
を含め関係者が一丸とな  
って取り組むべきではな  
いか。

問 井口小学校の移転  
により、通学路や通学方

通学路の安全対策は

法が変更になる地域があ  
る。必要に応じて歩道、  
安全柵などの設置を計画  
的に進めるべきではないか。

答

通学路と危険箇所  
の把握については、まず  
は井口小学校と保護者の  
皆さんから検討していた  
だけ。安全対策について  
は、総合的に判断する。



小出インターチェンジ

攻めの農林業の具体策を問う



志田 貢 議員

答

生産組織等との協力体制  
及び人材育成に取り組む

問 1 本市において  
耕作放棄地の解消が大き  
な課題であり、放棄地発  
生防止の事前調査及び所  
有者への指導等、市が積  
極的に介入すべきと考え  
るがどうか。

答 1 耕作放棄地の  
解消には、農業委員会が  
現地確認や指導を行って  
いる。農家や生産組織の  
協力体制の確保、育成に  
力点をおいた取り組みが  
必要と考える。

2 指摘のとおり、農林  
業の振興には出口である  
市場や消費拡大が必要で  
ある。今後の課題とする。

3 林業の振興、活性化  
策の受け皿として木質バ  
イオマス利用を考えると、  
ストックヤードや木材の  
仕分け及びチップ等の処  
理施設は不可欠である。  
また、切り出した木材を  
1カ所に集材することは  
コスト削減につながり、  
その体制整備も含めて検

3 6次産業化に向け多  
元的な取り組みとして、  
木材コンビナートを形成  
し原木の安定的な集荷、  
供給業務を行える体制づ  
くりを目指してはどうか。

問 「うおぬま地方の  
健康調査（魚沼コホート  
研究）」支援事業が示され  
たが、どのように支えて  
いくのか。

答 調査結果を生活習  
慣病の予防や健康づくり  
に生かせることを考える。多  
くのデータを蓄積するこ  
とが調査の精度を高める  
ことから、多くの市民か  
ら参加いただけるよう新  
潟大学と協力して進めて  
いく。

# 自然保護と自然を活用した交流人口増加を



岩井富士夫 議員

### 調査を進め、調和のとれた活用策につなげたい

**問** 1 魚沼の動植物の調査実態はどうか。

**2** 乱獲防止のため自然保護条例をつくるべきと考えるがどうか。

**3** 保護するだけでなく観光と結びつけた取り組みを考えてはどうか。

**答** 1 魚沼の動植物の調査実態はどうか。その防止策として条例の制定もあるが、土地の形状保持や開発規制を強いることにより市民生活を制約する側面もあることから、合意形成を図る必要がある。

**2** 尾瀬国立公園というお手本があるので、調査結果を自然保護と地域活性化の両面から調和のとれた活用策につなげたい。

**3** 尾瀬国立公園というお手本があるので、調査結果を自然保護と地域活性化の両面から調和のとれた活用策につなげたい。

**答** 1 高齢福祉、障害福祉、児童福祉事業の分野において協力いただいている。

**2** 施設建設時の元利償還金に対する補助や、特別養護老人ホームの増床に対し一部補助金を支出している。

**3** 尾瀬国立公園というお手本があるので、調査結果を自然保護と地域活性化の両面から調和のとれた活用策につなげたい。

**問** 産業発展のために、市民・行政・企業がその理念に基づいた中で一致した協働をする「産業振興条例」の制定について見解を問う。

**答** 現在、各種業界と個別、具体的な課題について協議して地域経済の発展のために取り組んでいる。地域の実情に見合った施策に取り組んでいくため、条例の制定は考えていない。

**答** 現在、各種業界と個別、具体的な課題について協議して地域経済の発展のために取り組んでいる。地域の実情に見合った施策に取り組んでいくため、条例の制定は考えていない。



大平 恭児 議員

### 条例ではなく、地域の実情に見合った施策に取り組むべきではないか。

**答** 産業発展のために、市民・行政・企業がその理念に基づいた中で一致した協働をする「産業振興条例」の制定について見解を問う。

**答** 現在、各種業界と個別、具体的な課題について協議して地域経済の発展のために取り組んでいる。地域の実情に見合った施策に取り組んでいくため、条例の制定は考えていない。

**答** 子育てに関しては、妊娠期からきめ細かな事業を行っている。相談内容や悩みも多種多様である。子ども・子育て会議等の意見を十分踏まえた中で、支援の充実に努めたい。

**答** 子育てに関しては、妊娠期からきめ細かな事業を行っている。相談内容や悩みも多種多様である。子ども・子育て会議等の意見を十分踏まえた中で、支援の充実に努めたい。

**答** 子育てに関しては、妊娠期からきめ細かな事業を行っている。相談内容や悩みも多種多様である。子ども・子育て会議等の意見を十分踏まえた中で、支援の充実に努めたい。

# 産業発展のために産業振興条例の制定を

**問** 1 魚沼の動植物の調査実態はどうか。

**2** 乱獲防止のため自然保護条例をつくるべきと考えるがどうか。

**3** 保護するだけでなく観光と結びつけた取り組みを考えてはどうか。

**答** 1 魚沼の動植物の調査実態はどうか。その防止策として条例の制定もあるが、土地の形状保持や開発規制を強いることにより市民生活を制約する側面もあることから、合意形成を図る必要がある。

**2** 尾瀬国立公園というお手本があるので、調査結果を自然保護と地域活性化の両面から調和のとれた活用策につなげたい。

**3** 尾瀬国立公園というお手本があるので、調査結果を自然保護と地域活性化の両面から調和のとれた活用策につなげたい。

**答** 1 高齢福祉、障害福祉、児童福祉事業の分野において協力いただいている。

**2** 施設建設時の元利償還金に対する補助や、特別養護老人ホームの増床に対し一部補助金を支出している。

**3** 尾瀬国立公園というお手本があるので、調査結果を自然保護と地域活性化の両面から調和のとれた活用策につなげたい。

**問** 産業発展のために、市民・行政・企業がその理念に基づいた中で一致した協働をする「産業振興条例」の制定について見解を問う。

**答** 現在、各種業界と個別、具体的な課題について協議して地域経済の発展のために取り組んでいる。地域の実情に見合った施策に取り組んでいくため、条例の制定は考えていない。

**答** 現在、各種業界と個別、具体的な課題について協議して地域経済の発展のために取り組んでいる。地域の実情に見合った施策に取り組んでいくため、条例の制定は考えていない。

**答** 産業発展のために、市民・行政・企業がその理念に基づいた中で一致した協働をする「産業振興条例」の制定について見解を問う。

**答** 現在、各種業界と個別、具体的な課題について協議して地域経済の発展のために取り組んでいる。地域の実情に見合った施策に取り組んでいくため、条例の制定は考えていない。

**答** 子育てに関しては、妊娠期からきめ細かな事業を行っている。相談内容や悩みも多種多様である。子ども・子育て会議等の意見を十分踏まえた中で、支援の充実に努めたい。

**答** 子育てに関しては、妊娠期からきめ細かな事業を行っている。相談内容や悩みも多種多様である。子ども・子育て会議等の意見を十分踏まえた中で、支援の充実に努めたい。

**答** 子育てに関しては、妊娠期からきめ細かな事業を行っている。相談内容や悩みも多種多様である。子ども・子育て会議等の意見を十分踏まえた中で、支援の充実に努めたい。

**問** 1 魚沼市が設立の支援をした社会福祉法人とは、どのような関係になっているか。

**2** その社会福祉法人に補助金を支出しているか。

**3** 法人部門及び福祉サービス部門の職員に限り、予算の範囲内で補助している。

**答** 1 魚沼市が設立の支援をした社会福祉法人とは、どのような関係になっているか。

**2** その社会福祉法人に補助金を支出しているか。

**3** 法人部門及び福祉サービス部門の職員に限り、予算の範囲内で補助している。

**答** 法人部門及び福祉サービス部門の職員に限り、予算の範囲内で補助している。

**答** 法人部門及び福祉サービス部門の職員に限り、予算の範囲内で補助している。

**答** 法人部門及び福祉サービス部門の職員に限り、予算の範囲内で補助している。

**問** スキー場が完全民間化されたが、行政との連携なしには良い方向に

**答** スキー場が完全民間化されたが、行政との連携なしには良い方向に

**答** スキー場が完全民間化されたが、行政との連携なしには良い方向に

**問** 母子保健活動の現状と課題を問う。また、子育て支援の充実を図る

**答** 母子保健活動の現状と課題を問う。また、子育て支援の充実を図る

**答** 母子保健活動の現状と課題を問う。また、子育て支援の充実を図る

**答** 子育て支援の充実を図る

**答** 子育て支援の充実を図る

**答** 子育て支援の充実を図る

**問** 1 大学などの専門機関による調査のほか、市ではボランティアの参加を得ながら市民協働事業として自然環境保全調査を実施している。市内の植物や野鳥、トンボやチョウなどの調査を行っている。

**2** ゴフチョウやクワガタなどを商業用目的に大量に採集する悪質な行為に対しては、何らかの規制が必要だと考える。その防止策として条例の制定もあるが、土地の形状保持や開発規制を強いることにより市民生活を制約する側面もあることから、合意形成を図る必要がある。

**3** 保護するだけでなく観光と結びつけた取り組みを考えてはどうか。

**問** 1 魚沼市が設立の支援をした社会福祉法人とは、どのような関係になっているか。

**2** その社会福祉法人に補助金を支出しているか。

**3** 法人部門及び福祉サービス部門の職員に限り、予算の範囲内で補助している。



本町ベルロード商店街

# 一般質問 (通告順)



# 総務委員会報告

10月8日

現地調査

(魚沼市乗合タクシー)

2班に分かれ乗合タクシー等を利用して状況を確認した。

**1班** 大白川山菜会館から乗合タクシーを利用し、大白川駅で只見線に乗り小出駅で降りて、小出まちなか循環線に乗り小出庁舎到着。

**2班** 三ツ又から乗合タクシーに乗りし、池平経由で小出庁舎到着。  
**総括** 只見線との接合時間を考える必要がある。小出駅の循環バス待合所がわかりにくい。三ツ又線では早朝の便も追加すべきではないかなどの意見が出され、今後も調査を行うこととした。



乗合タクシー乗車

12月11日

議案第106号

**1** 議案第106号  
魚沼市消防本部及び消防署設置条例の一部改正について

現在の消防庁舎の位置を新消防庁舎に変更するもの。

**問** 移転後の旧消防庁舎の駐車場の管理はどのようなのか。

**答** 県立小出病院職員用の駐車場として冬期間使用する旨の打ち合わせを担当課と行っている。

**問** 駐車場は消防本部が管理できないのではないのか。総務課に任せるべきでないか。

**答** 今後、所管課と相談し手続きをする。採決の結果、原案可決とした。

**2** 議案第108号  
魚沼市職員等の職務行為等審議会条例の制定について

職員等(自治会長、嘱託員、消防団、各種審議会委員など対象は3千人以上)が職務上の行為について損害賠償請求訴訟を起こされた場合に市が支援するに当たり、必要な事項を審議するための審議会を設置するもの。

**問** 勝訴した場合は、全額払うということ、その前に審議会を開いて適否を判断するということが。敗訴の場合は、支援した金額はどうなるのか。

**答** 敗訴の場合は事務的経費程度と考える。審議会委員の報酬は、弁護士が1万1千円、その他の委員が5千円。今は3人程度を想定しており、審議会の費用は2万1千円程度となる。これは判決に関係なく支出する。

**答** 継続審査の動議が出されたが、否決とした。その後、討論が行われ、採決の結果、賛成多数で原案可決とした。

**3** その他  
緑の分権改革及び魚沼市入湯税条例の一部改正に伴う対応について、執行部から説明を受け、質疑を行った。また、旧大沢下水処理場の放射性物質を含む汚泥の管理等について現地調査を行った。

**問** 勝訴した場合は、全額払うということ、その前に審議会を開いて適否を判断するということが。敗訴の場合は、支援した金額はどうなるのか。

**答** 現在はその考えはない。しかし、近隣の自治体では動きがあり、可能性は排除できない。  
**3** 高齢者福祉について  
今後、介護事業者に

# 福祉文教委員会報告

11月11日

現地調査

(教育委員会所管施設)

広神東小学校グラウンド陥没復旧工事、つくし・ひかり保育園、堀之内子育て支援センター、広神野球場、広神・守門・入広瀬中学校、入広瀬こども家、旧上条小学校を視察した。園長や校長等から現況の説明を受け、質疑を行った。

**1** 請願第8号及び議案第109号、112号、121号、123号について  
審議し、いずれも採択または原案可決とした。

12月12日

議案第109号

**1** 請願第8号及び議案第109号、112号、121号、123号について  
審議し、いずれも採択または原案可決とした。

**2** 子育て支援について  
子ども・子育て会議は何を目標しているか。

**答** 市民のニーズを把握し、施策に反映できるところを原点到会議を進めたい。

**問** 幼保小中一貫システムの構築をどう進めるか。同じ敷地内に中学まで一体的に整備することも考えていいのではないか。

**答** 現在はその考えはない。しかし、近隣の自治体では動きがあり、可能性は排除できない。  
**3** 高齢者福祉について  
今後、介護事業者に



広神中学校体育授業



# 産業建設委員会報告

10月26日

スキー場の運営について 月31日の臨時会において、魚沼市スキー場条例の廃止と索道等の無償貸与に関する議案を提案し

●執行部より説明  
各スキー場の民営化に向けて、それぞれの団体

の意思決定がされた。10

1 請願第10号及び議案第113号、119、124号、128号について

審議し、いずれも採択または原案可決とした。

12月13日

2 スキー場の運営について  
今シーズンは昨年と運営が異なるスキー場はあるか。

3 大湯温泉スキー場は営業日数を絞るかもしれないと聞いているが、他のスキー場は昨年どおりの営業を行うと聞いている。民営化となったが、財産管理はどうなっているか。

4 市の財産には変わりはない。今まで通り商工観光課で管理する。

5 魚沼市商工会連絡協議会作成のギフトカタログ「魚沼まるごと市場」について

魚沼産製品を集めたよいカタログだが、販売実績はどうか。また、カタログ部分を市内全戸配布してはどうか。

300冊以上販売されたと聞いている。全戸

配布でなく利用された方の口コミで宣伝効果になればよいと考えている。

4 ものづくり振興協議会について

協議会の活動の場所や、活動を紹介できる場所を考えてはどうか。

結論は出ていない。

5 米の生産調整について

戸別所得補償の反当たりの補助金が1万5千円から7千5百円に下がるといふ報道がある。当市は転作条件が悪く厳しい状況の中、生産調整に参加しないことが予想される。市が半額になる分を上乗せしないと、生産調整が一気に崩れてしまうと思うがどうか。

7千5百円は政府案なので決定と思う。また、農業の多面的機能を評価した日本型直接支払いを実施することも決まっ



とって一番の課題は何か。法人に無償譲渡し、グループホームが開設され

国の制度改正に対応したが、まだニーズはあ

めの人材確保である。他の法人

特別養護老人ホームも施設の増築など予定

の需要に対する計画はあるか。

400人ほどの待機者がいるが、来年度の増床は難しい。ニーズ調査を行い、第6次介護保険事業計画に反映していきたい。

障がい者福祉について

障がい者の家族の高齢化が進む中、受け皿の整備に取り組んでいるか。

旧教員住宅をNPO移行できるような進めている。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

障がい者の雇用の促進を進めているか。

たい。また、市内の子どもに

対し、冬期間のスポーツ振興という考えで

教育委員会から新たな補助を考えている。

10月31日に臨時会が開かれ、関連議案をすべ

て可決した。

各スキー場の赤字や補助金などはどのくらい

になるのか。

今後は経営に対して赤字補てんなどの支援は

しない。

補助は市内の子どもだけか。観光という観点

から市外の子どもにもどうか。

市内の子どもで考えている。

2 スキー場の運営について

今シーズンは昨年と運営が異なるスキー場はあるか。

大湯温泉スキー場は営業日数を絞るかもしれないと聞いているが、他のスキー場は昨年どおりの営業を行うと聞いている。民営化となったが、財産管理はどうなっているか。

市の財産には変わりはない。今まで通り商工観光課で管理する。

魚沼市商工会連絡協議会作成のギフトカタログ「魚沼まるごと市場」について

魚沼産製品を集めたよいカタログだが、販売実績はどうか。また、カタログ部分を市内全戸配布してはどうか。

300冊以上販売されたと聞いている。全戸

配布でなく利用された方の口コミで宣伝効果になればよいと考えている。

4 ものづくり振興協議会について

協議会の活動の場所や、活動を紹介できる場所を考えてはどうか。

結論は出ていない。

5 米の生産調整について

いる。一反歩当たり上限5千4百円だが、細かいところは決まってい

ない。この差額分については、国の方針も明確ではないため予算要求はまだ

していない。

協議会の活動の場所や、活動を紹介できる場所を考えてはどうか。

結論は出ていない。

米の生産調整について

戸別所得補償の反当たりの補助金が1万5千円から7千5百円に下がるといふ報道がある。当市は転作条件が悪く厳しい状況の中、生産調整に参加しないことが予想される。市が半額になる分を上乗せしないと、生産調整が一気に崩れてしま

うと思うがどうか。

7千5百円は政府案なので決定と思う。また、農業の多面的機能を評価した日本型直接支払いを

実施することも決まっ

# 地域医療対策 特別委員会報告

11月27日

医療再編等の経過につ

いて執行部より報告があ  
り質疑を行った。

1 医療再編等の経過に  
ついて

問 10月10日に魚沼市医  
療公社の就職説明会が  
あったが、参加人数と年  
代層はどうか。

答 約50名の参加で、20  
代、30代、40代それぞれ  
10名程度だった。

問 説明会の状況を踏ま  
え、新小出病院開院時に  
職員を充足できる見込みか。

答 説明会の感触として  
は、若い方が多く、小出  
病院、堀之内病院職員以  
外の方や市外からの参加  
も多数あった。

問 平成26年度採用試験  
を今年9月下旬に実施と

2 新小出病院の建設工  
程変更について

問 執行部より説明  
新病院の基礎工事で3  
m余り掘削したところ、  
事前調査では分からな  
かった地盤支持力が一部  
不足する軟弱な箇所が見  
つかり、地盤改良工事を  
実施することになった。

答 募集に対し応募があ  
り、試験の結果、診療放  
射線技師1名を採用した。

問 医師、看護師、薬剤  
師、助産師についてはど  
うか。

答 市報にも掲載した  
が、11月末を期限に募集  
している。12月に採用試  
験を実施する。

問 医療公社への移行に  
対する堀之内病院職員の  
受け止め方はどうか。

答 職員からは、医療公  
社の中で中核的に頑張っ  
ていただきたいと考えて  
いる。総務課、病院局と  
一緒に処遇のことも検討  
している。

問 粘土質混じりの土砂  
を取り除き砕石に入れ替  
える。入替土量は最大で  
約2千m<sup>3</sup>。現在施工中で  
掘削が終わっていないの  
で、変更金額についても  
今後の調査の中で出てく  
る。

問 どのような変更工事  
か。概算の追加費用はい  
くらか。

答 どのような変更工事  
か。概算の追加費用はい  
くらか。

問 地盤改良と捨コン打  
設まで年内に完了する。  
免震ピットの構造物は来  
年3月から施工する。現  
場除雪を2月に入ったら  
前倒しで実施する。

3 その他  
今後の委員会の進め方  
について委員より発言が  
あり、協議をした。議会  
報告会で市民から出され  
た意見や、医師、スタッ  
フ確保について、医療の  
ネットワーク化について  
など引き続き調査をする  
こととした。

問 燕市は人口が約8万2  
千人で、平成18年3月に  
旧燕市、吉田町、分水町  
が合併して誕生した。新  
庁舎は総工費45億円、敷  
地面積が3万5千932  
m<sup>2</sup>、庁舎棟と付帯施設棟、  
来庁者及び職員駐車場を  
整備した。庁舎棟は地上  
4階で延床面積が1万1  
千443m<sup>2</sup>、職員は33  
0名。防災拠点機能の強  
化の面から免震構造と  
し、屋上ヘリポートを設  
置、高強度のコンクリー  
トを使用している。

問 旧庁舎の活用につい  
ては、新庁舎の建設と並  
行して検討した。旧吉田  
庁舎は子育て支援セン  
ター、社会福祉協議会(貸  
与)、公共団体の事務所  
(貸与)として利用。旧  
燕庁舎は古い本館を解体  
し駐車場とし、新館は水  
道局及び地区保健セン  
ターとして利用。旧分水  
庁舎は解体して分水消防  
署を建てることとしてい  
る。改修は平成26年度に  
施工して平成27年4月に  
供用開始予定と説明を受  
けた。

11月27日

問 合併特例債での庁舎起  
債基準面積等が廃止され  
たことについて、説明を  
受け、質疑を行った。こ

の工程はどうか。



新小出病院建設現場

# 庁舎再編整備 特別委員会報告

11月14日

現地視察

(燕市役所)

今年5月に完成した新  
庁舎を視察し、新庁舎と  
旧庁舎の活用について  
説明を受け、総括を行った。

燕市は人口が約8万2  
千人で、平成18年3月に  
旧燕市、吉田町、分水町  
が合併して誕生した。新  
庁舎は総工費45億円、敷  
地面積が3万5千932  
m<sup>2</sup>、庁舎棟と付帯施設棟、  
来庁者及び職員駐車場を  
整備した。庁舎棟は地上  
4階で延床面積が1万1  
千443m<sup>2</sup>、職員は33  
0名。防災拠点機能の強  
化の面から免震構造と  
し、屋上ヘリポートを設  
置、高強度のコンクリー  
トを使用している。

問 旧庁舎の建設と並  
行して検討した。旧吉田  
庁舎は子育て支援セン  
ター、社会福祉協議会(貸  
与)、公共団体の事務所  
(貸与)として利用。旧  
燕庁舎は古い本館を解体  
し駐車場とし、新館は水  
道局及び地区保健セン  
ターとして利用。旧分水  
庁舎は解体して分水消防  
署を建てることとしてい  
る。改修は平成26年度に  
施工して平成27年4月に  
供用開始予定と説明を受  
けた。

11月27日

合併特例債での庁舎起  
債基準面積等が廃止され  
たことについて、説明を  
受け、質疑を行った。こ

の工程はどうか。

問 地盤改良と捨コン打  
設まで年内に完了する。  
免震ピットの構造物は来  
年3月から施工する。現  
場除雪を2月に入ったら  
前倒しで実施する。

3 その他  
今後の委員会の進め方  
について委員より発言が  
あり、協議をした。議会  
報告会で市民から出され  
た意見や、医師、スタッ  
フ確保について、医療の  
ネットワーク化について  
など引き続き調査をする  
こととした。

問 粘土質混じりの土砂  
を取り除き砕石に入れ替  
える。入替土量は最大で  
約2千m<sup>3</sup>。現在施工中で  
掘削が終わっていないの  
で、変更金額についても  
今後の調査の中で出てく  
る。

問 冬期休工前にどこま  
で進められるのか。来春

れにより、対象面積等の拡大が見込まれることと、特例債の充当率は対象事業費の95%で、そのうち70%は後年度の普通交付税に算入されるとの説明を受けた。

12月16日

魚沼市庁舎一本化移行方針（案）について、説明を受け、質疑を行った。



燕市役所新庁舎視察

合併特例債の5年間延長により、一本化を新庁舎で行う場合は平成31年度の庁舎整備完了が財政面から必要であり、既存庁舎での再編も財源には特例債を活用したいとの方針が示された。また、これにより平成26年度に方針を決定する必要があるとのスケジュールも明らかにされた。

## 議会改革 特別委員会報告

地方分権が進展し、地方自治体の自己決定・自己責任と市民との信頼関係、協働の精神による自主自立のまちづくりが求められている。

市民が直接選挙で選ぶ首長と議会議員は、二元代表制のもとで、互いに緊張感を持って、市民の福祉向上のために、その責務を果たしていかなければならない。

当委員会では、9月以降、毎月2回の議会改革特別委員会を開催し、12月2日に「魚沼市議会基本条例素案」を作成した。

12月6日の本会議初日、議長に素案を報告した。今後は、議会運営委員会の審議を経て、パブリックコメントを募集する予定とした。

なお、基本条例素案の構成は、次のとおりとした。

前文（基本的な考え方）	第1章 総則（目的）
第2章 議会及び議員の活動原則	第3章 市民と議会との関係
第4章 議会と行政との関係	第5章 議会運営
第6章 政務活動費	第7章 議会の機能強化
第8章 政治倫理	第9章 最高規範性
第10章 検証及び見直し	



## 魚沼市議会基本条例(案)の パブリックコメントを募集します

この条例案は、議会及び議員の活動原則や市民との意見交換などを規定し、議会の役割をさらに強化・充実するために策定するものです。

この内容に対する市民の皆様の見聞を募集します。

### 条例案の閲覧場所

議会事務局と各市民センターでご覧いただけます。魚沼市ホームページにも掲載しています。

### 募集期間

平成26年1月24日（金）～2月24日（月）

### 提出方法

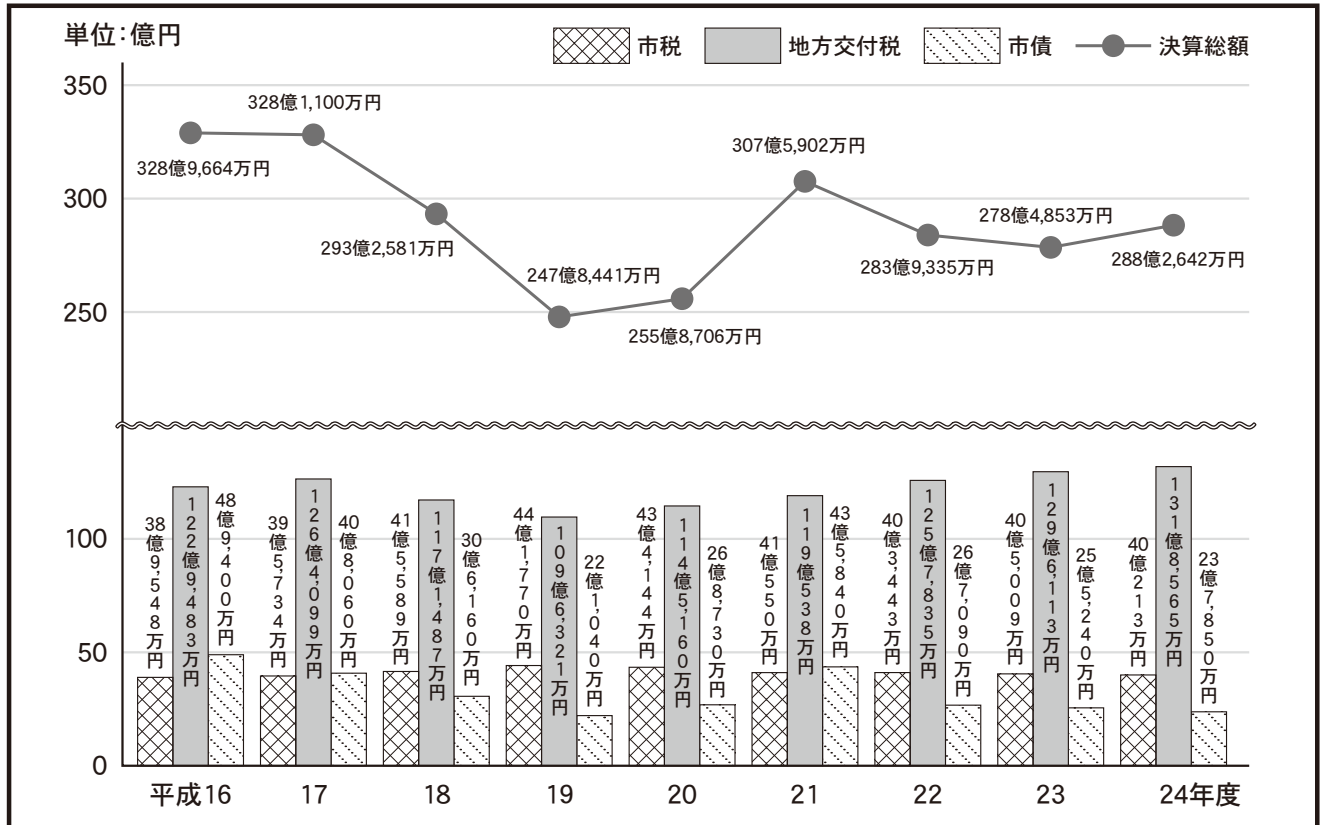
任意の用紙に住所、氏名、電話番号、ご意見を記載し、議会事務局、または各市民センターに直接お持ちいただくか、議会事務局に郵送、FAX、または電子メールで提出してください。電話や口頭での聴き取りは行いません。また、匿名の意見は受け付けませんので、必ず住所、氏名、電話番号を明記してください。



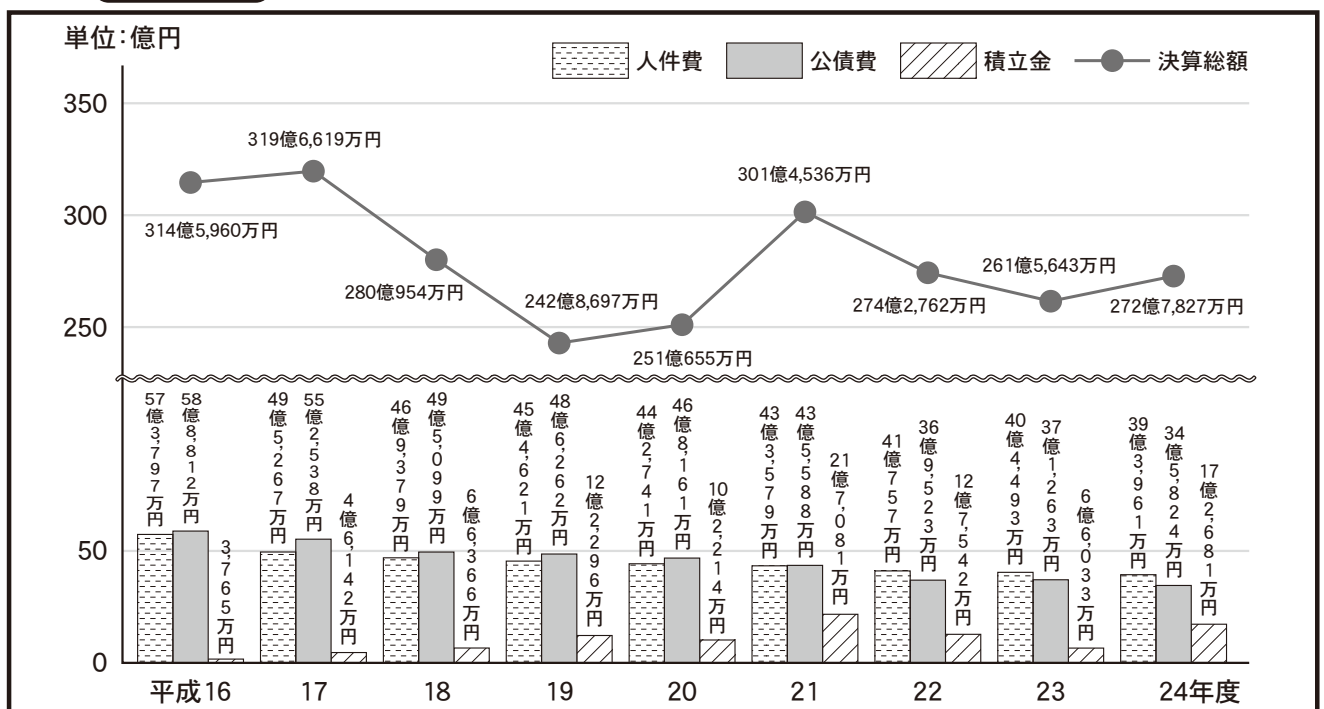
# 特集 合併後の一般会計決算の推移

議会報告会で意見のありました合併後の一般会計決算の推移と、職員数・人件費の推移をお知らせします。

## 歳入

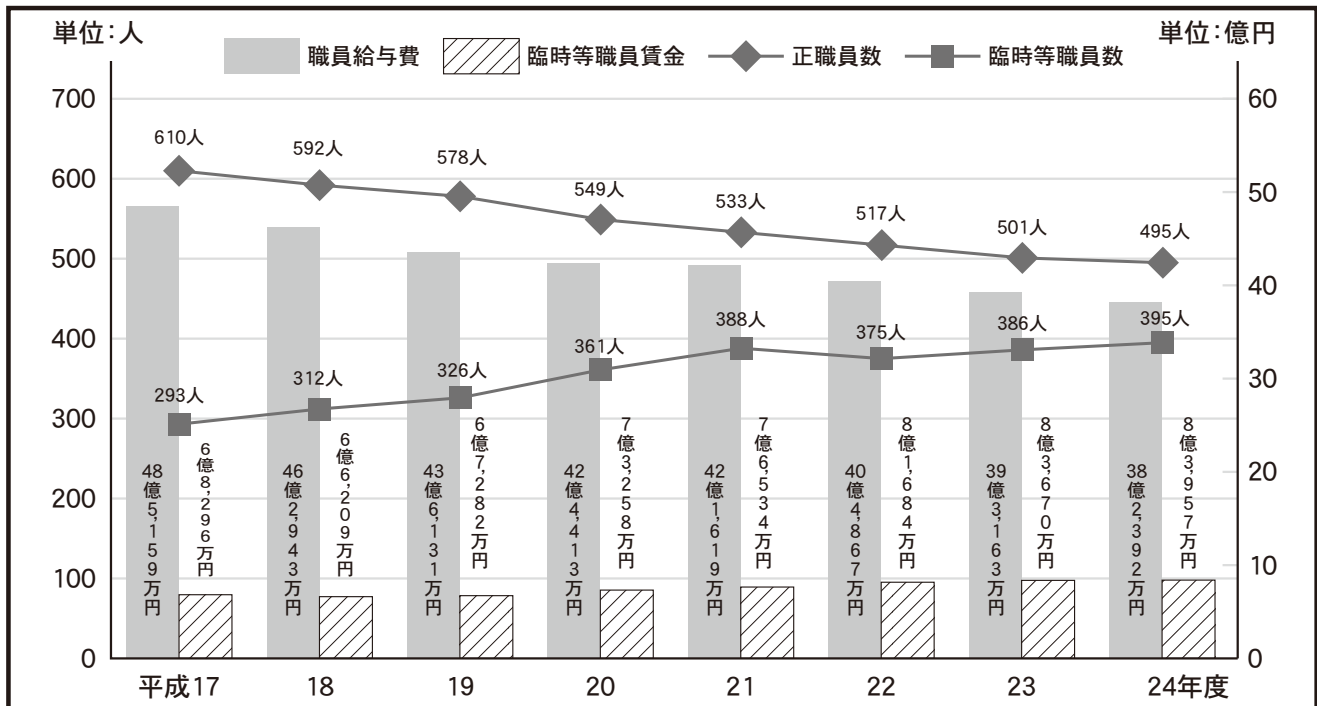


## 歳出



平成21年度決算額が増えた理由 ● 定額給付金給付事業費 ● 下水道事業会計負担金補助金の増額(企業債繰上償還のため)

# 職員数・人件費の推移(一般会計決算)



・「職員数」「臨時等職員数」は各年3月31日現在の数値。・「臨時等職員数」は臨時職員、非常勤職員、産休育休代替職員、当直代行員の人数。

## 議会報告会を開催しました

11月5日、6日、7日に市内6カ所で、9月定例会に関する議会報告会を開催しました。大勢の方からご来場いただき、意見交換ができたことに感謝申し上げます。新斎場、観光、農業など、様々なご意見をいただきました。たくさんいただいたご意見の一部を紹介し、今後の議会活動に生かしてまいります。

### 総務委員会で調査していきます

- 人口が増えるように取り組んでほしい。
- 水害対策として排水ポンプの機能を強化してほしい。
- 旧入広瀬村には各世帯にオフトークの設備があったが、現在の防災無線は聞こえにくい。有効な手段を検討してほしい。
- 入湯税を観光PRに役立ててほしい。
- 普通交付税が減っていくが、自主財源をどのように確保していくのか。

### 福祉文教委員会で調査していきます

- 魚沼市は広いので、保健師の人数を増やせないか。
- 新斎場の墓地・ペット霊園の規模はどれくらいか。大きすぎないか。
- 入広瀬・守門・広神中学校をいきなり統合するのは乱暴ではないか。登下校に時間がかかる地域もあるので慎重に考えてほしい。
- 小学校の学区再編についても、人数減が見込まれるので早めに検討してほしい。
- これから建設される守門こども園(仮称)が、守門開発センターのように地域の住民が集まれる施設にしてほしい。

### 庁舎再編整備特別委員会で調査していきます

- 新庁舎の検討を始めてはどうか。

### 産業建設委員会で調査していきます

- 来年は全国植樹祭のほかに市政10周年など記念の年だ。観光振興のため、市への働きかけや議会の努力を望む。
- 東京オリンピックを利用して魚沼市へ人を呼び込む施策を提言してほしい。
- 水の郷工業団地への企業進出の予定はあるか。若者の働く場の確保によって人口減も抑えられると思うが、どう取り組むか。
- 魚沼産木材、魚沼杉の商品化に本気で取り組んでほしい。
- スキー場が民営化されるが、市がどの程度費用負担をするのか。

### 地域医療対策特別委員会で調査していきます

- 新小出病院の医師、看護師など医療スタッフの確保ができるのか。今の県立病院のスタッフは残ってくれるのか。スタッフが「魚沼市のために力を尽くそう」と思えるよう、議会も取り組んでほしい。
- 広大な魚沼市の訪問診療にきちんと取り組んでほしい。
- 今ある市立医療機関の存続が心配だ。

調査の経過は、議会だよりの委員会報告等で随時報告していきます。

# 市民の声

### 3世代で強い絆を築き、新しい魚沼市を創ろう

田中 遠藤重文さん

今の世界と日本は超時代の変わり目です。

あの太平洋戦争、ドルショックによる基軸通貨の激変で、現在の超混沌の源は富豪たちのみがお金もうけできる変動相場制の時代を卒業しよう。

東日本大震災と原発事故は、この大変動をさらに加速させた。今一番大切なことは、若者と中堅と長老たちが真に相手の立場、育ってきた時代背景の要を理解し合い、なぜ若者は〇と考えるのか、なぜ長老たちは□と考えるのか等を、命を懸けて理解し合い、広く深い人間の英知で堅く握手することです。

このことは市長行政と議会と市民の共の信頼が不可欠なことも全く同じです。魚沼市だけが、なぜ訴訟問題がこんなに多いのか…それは共の真剣勝負の話し合いが超不足しているからです。すべては話し合いで決できます。目と眼を見つめ合い共の絆、信頼を築き合って魚沼市を超元気に前進させましょう。



今泉 青山四郎さん

### 納税申告相談会場にひと言

旧広神村時代の税の申告相談は、役場職員が集落へ出向いた。魚沼市になって、会場が広神庁舎

になった。集落ごとに午前と午後に分け、フリーの日も設けた。7年ほどの前から会場が小出郷福祉センターになっている。平成26年2月からの申告相談会場は、湯之谷庁舎に変更したという。私は86才、老妻と2人の年金暮らし、雪中に出向くのは、脚、腰が痛くて億劫だ。小出までのタクシー代は往復3千円、今度の湯之谷会場では5千円くらいになると思う。「市民サービスの上を図るための変更です」とはつきり市報には載っている。そろばんから電卓、パソコンになって、時代の変化と思われるが、昭和1桁の石頭には不思議でならない。



### 本会議の映像配信を 始めました

12月定例会から本会議の映像をインターネットで配信しています。魚沼市議会ホームページにアクセスいただき、ご覧ください。また、会議録も議会事務局、図書館(室)、ホームページで閲覧できます。

### 議会を傍聴してみませんか



市議会議場は広神庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。定例会は年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

### 「市民の声」の 原稿を募集します

- 字数300字程度
  - タイトル
  - 住所・氏名
  - 顔写真を同封のうえ、お寄せください。
  - (顔写真の掲載を希望されない場合は不要です) 送り先
- 魚沼市議会事務局  
(魚沼市今泉 1488番地1)

### あ と が き

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年は何年になく雪の少ない穏やかなお正月となりました。雪と戦い続けて50年、一度も勝利したことはなく大自然の圧倒的な攻撃に対して最大の根性で耐えなければなりません。冬の雪には勝てませんが我々には春という素晴らしい味方が存在し、春陽の日差しを照らし冬の労をねぎらってくれます。魚沼市は今年、11月1日に10歳の誕生日を迎えます。経済不況の中、様々な問題を抱える魚沼市が大きく前進し、大輪の花を咲かせ、10歳の誕生日を祝福できる年になることを初夢と願うものです。(志田 貢)